



群馬県立 美術館・博物館・文学館 企画展スケジュール

GUNMA MUSEUM Calendar2026



近代美術館

孤高の彫刻家 村山琴泉
2026/9/19-11/8

精緻な牙彫を学び、のち木彫に転じ、明治から昭和を生きた前橋出身の彫刻家・村山琴泉の個展を、全国の美術館で初めて開催します。



《犬持つ農夫》
ハラサワコレクション
photo毛利聡

観覧料⇒ 大300円 学150円 子無料

ウジェーヌ・ブーダン
印象派の父—光を求めて
2026/11/28-2027/1/31



《ヴェネツィア、サン・ジョルジョ・マッジョーレ》1895年頃、ランス美術館蔵
(Inv.907.18.28)C.DEVLEESCHAUWERE

観覧料⇒ 大1200円 学600円 子無料

印象派の先駆者と呼ばれ、うつろいやすい光や大気を描き、モネらに影響を与えた19世紀フランスの画家ウジェーヌ・ブーダンの日本で30年ぶりの展覧会です。

群馬青年ビエンナーレ50周年記念特別賞
受賞作家展 郭 家伶
2027/1/23-4/4



《無人餐厅(人のいないレストラン)》
「群馬青年ビエンナーレ2021」入選作品

観覧料⇒ 大300円 学150円 子無料

1976年以来、優れた作家を多く排出してきた群馬青年ビエンナーレ。50周年を記念した、特別賞受賞作家による記念展を開催します。

歌川豊国と歌川派の浮世絵展
—国貞も国芳も、はじまりは豊国—
2027/2/20-4/4

江戸時代の浮世絵界を圧倒的な人気で独走した、豊国を筆頭とする「歌川派」の魅力を紹介いたします。



歌川豊国
《七代目市川團十郎の三浦荒男之助》
文化10(1813)年 中右コレクション

観覧料⇒ 大1000円 学500円 子無料

館林美術館

熊田千佳慕の世界
～愛するからこそ美しい～
2026/4/25-6/28



『ミツバチマーヤのぼうけん』
(学研『3年の科学』)より
1975年頃 ©Chikako Kumada

観覧料⇒ 大850円 学420円 子無料

花や昆虫、動物を細密に描いた熊田千佳慕(くまだちかほ)の世界を、代表作『ファール昆虫記』など約180点の原画と彼の言葉で紹介いたします。

ニクロヴァーのプラスチック・トイから現代作家の
アートまで—テココのおもちゃとデザイン—(仮)
2026/7/18-9/23

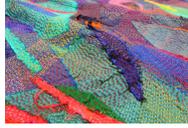


《(左から) リアッシュ・ニクロヴァー、フトラ社
(ライオン)のアクセサリー(デザイン)1984年、
(ネコのアクセサリー)1983年、
(キツネのアクセサリー)1984年
イラストも個人蔵

観覧料⇒ 大850円 学420円 子無料

1960年代のテココで、工業デザイナーのニクロヴァーがデザインしたプラスチック素材のおもちゃをはじめ、現在まで受け継がれている子どものためのアートを紹介いたします。

テキスタイル・アートを楽しむ
—現代の糸、布、織維の芸術—
2026/10/10-12/13



《(左から) リアッシュ・ニクロヴァー、フトラ社
(ライオン)のアクセサリー(デザイン)1984年、
(ネコのアクセサリー)1983年、
(キツネのアクセサリー)1984年
イラストも個人蔵

観覧料⇒ 大850円 学420円 子無料

テキスタイル・アートは、糸や布、織維などを素材とした造形作品です。織り、染め、フェルティングなど多様なテクニックで生み出された作品をお楽しみください。

南 桂子
—銅版が紡ぐひそやかな夢—
2027/1/16-4/4



南桂子「子供と花と犬」1963年
協力: ミュゼ美術館・ヤマザコレクション

観覧料⇒ 大650円 学320円 子無料

1954年に渡ったパリで銅版画を学び、少女や鳥、樹木などをモチーフとした独自の作品を確立した南桂子。その詩情ゆたかな世界を紹介いたします。

歴史博物館

金井沢碑建立1300年記念
金井沢碑

1300年の時を超えたメッセージ
2026/4/10-6/7



金井沢碑に登場する人々
(当館作成)

観覧料⇒ 大800円 学400円 子無料

金井沢碑を建てた一族は、112文字にどのような思いをこめたのでしょうか。金井沢碑に由来する1300年の時を超えた旅、そして群馬の古代仏教の世界へ、皆様をご案内します。

群馬県金井遺跡群出土品 重要文化財指定記念
ヨロイを着た古墳人がみた世界

—奇跡の金井遺跡群—
2026/7/10-8/30



ヨロイを着た古墳人がみた世界
(当館作成)

観覧料⇒ 大1200円 学600円 子無料

群馬県渋川市にある金井遺跡群の出土品が、昨秋、国の重要文化財に指定されました。これを記念し、関連する国内の同時代資料との比較から、その歴史的価値に迫ります。

いま
現代によみがえる能装束

2026/9/18-11/23



縫箔「浪に花唐船文様」
(山口能装束研究所蔵)

観覧料⇒ 大1000円 学500円 子無料

絹を重要な材料とする能装束は、生糸の一大生産地・群馬県にとって深い関わりがあります。山口能装束研究所が現代に復元した能装束を公開し、群馬の生糸生産についても紹介します。

歴博に眠る写真・映像(仮)
併催 昭和のくらし

2026/12/18-2027/3/7



清水トンネル庄回境
(平田一夫氏撮影
当館蔵)

観覧料⇒ 大600円 学300円 子無料

当館の収蔵庫に眠っている写真が目覚めます。昔の写真に写っている風景をよく見ると、当時の社会が見えてくることがあります。貴重な資料にもなる写真・映像の魅力をお伝えします。

自然史博物館

“害虫”たちの大博覧会
～見るのはちょっと...?でもね、
意外と気になります!～
2026/3/20-5/24



観覧料⇒ 大1000円 学500円 子無料

独特の姿形や不思議な生態をもつ昆虫類。中でも知られざる害虫の世界へご案内します。

北米ジュラ紀の恐竜たち
2026/7/18-9/13 9/19-12/6



観覧料⇒ 大1300円 学600円 子無料

アロサウルスやステゴサウルスなどの北米ジュラ紀後期の恐竜たちの一端を紹介します。

特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」2027/1/23-2/14



観覧料⇒ 大無料(常設展示は有料) 子無料

県内で自然保護・保全や自然史調査に携わる団体等の活動成果を紹介します。ぐんまの自然の「いま」について考えてみませんか。

開館30周年コレクション展
2027/3/20-5/23



観覧料⇒ 大1200円 学500円 子無料

自然史博物館の30年の歩みとともに、これまで蓄積してきた魅力ある標本たちを一挙に紹介します。

土屋文明記念文学館

まつおりかこ 絵本の世界
2026/4/25-6/28



まつおりかこ『いっつごうさぎのきつてん』
(令和2年 岩崎書店)

観覧料⇒ 大500円 学250円 子無料

読者にぬくもりと笑顔を届ける絵本作家・まつおりかこ。本展では、「いっつごうさぎ」シリーズや「モンボクえほん」シリーズなど、代表作の原画を展示し、その魅力を紹介いたします。

開館30周年記念 正岡子規とアララギ
2026/7/11-9/23



正岡子規
(国会図書館「近代日本人の肖像」より)

観覧料⇒ 大500円 学250円 子無料

アララギの源流、正岡子規の生涯と作品を、貴重な資料や様々なエピソードとともに紹介します。子規の遺志を継承した伊藤左千夫や土屋文明らアララギ歌人の作品も展示します。

三島由紀夫展
2026/10/17-2027/2/7



三島由紀夫 自由ヶ丘野野神社の例大祭に
法被鉢巻姿で参加する
(@shinchoha/毎日フォトバンク)

観覧料⇒ 大500円 学250円 子無料

戦時下の群馬で青春時代を過ごした三島の姿を、自筆資料とともに紹介します。「金閣寺」などの代表的な作品も多数展示。三島文学の魅力をぜひご堪能ください。

近代美術館

住所 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森内
 電話番号 027-346-5560
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始



4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
設備更新工事のため休館 ~9/18						孤高の芸術家 村山零泉 9/19~11/8		ウジェーヌ・ブーダン 印象派の父 —光を求めて— 11/28~1/31		歌川豊国と歌川派の浮世絵展 —画具も画材も、はじまりは豊国— 2/20~4/4	
群馬県青年ビエンナーレ 50周年記念特別賞受賞作家展 郭家伶 1/23~4/4											

館林美術館

住所 群馬県館林市日向町2003
 電話番号 0276-72-8188
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始



4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
休館 4/6 ~4/24	くまだ ちかほ 熊田千佳慕の世界 ~愛するからこそ美しい~ 4/25~6/28		休館 6/29 ~7/17	ニコロヴァーのプラスチック・トイ から現代作家のアートまで —テェコのおもちゃとデザイン— (仮) 7/18~9/23			休館 9/24 ~10/9	テキスタイル・アートを楽しむ —現代の糸、布、織物の芸術— 10/10~12/13		休館 12/14 ~1/15	南 桂子 —銅版が紡ぐひそやかな夢— 1/16~4/4	

歴史博物館

住所 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森内
 電話番号 027-346-5522
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始



4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
休館 4/6 ~4/9	金井沢碑建立1300年記念 金井沢碑 1300年の時を超えた メッセージ 4/10~6/7		休館 6/8 ~6/15	休館 6/29 ~7/9	群馬県金井遺跡群出土品 重要文化財指定記念 ヨロイを着た古墳人が みた世界 —奇跡の金井遺跡群— 7/10~8/30		休館 8/31 ~9/4	いま 現代によみがえる能装束 9/18~11/23		休館 12/7 ~12/17	休館 12/28 ~1/4	休館 3/8 ~3/19
常設展のみ	常設展のみ		常設展のみ	常設展のみ		常設展のみ	常設展のみ		歴史に眠る写真・映像(仮) 併催 昭和のくらし 12/18~3/7		常設展のみ	常設展のみ

自然史博物館

住所 群馬県富岡市上黒岩1674-1
 電話番号 0274-60-1200
 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始 ※8月無休



4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
“害虫”たちの 大博覧会 —見るのはちょっと...でもね、意外と驚かされるんです！— 3/20~5/24		休館 6/15 ~6/23	北米ジュラ紀の 恐竜たち 7/18~9/13		北米ジュラ紀の恐竜たち 9/19~12/6			休館 12/14 ~1/1	休館 1/4 ~1/8	休館 2/15 ~2/19	開館30周年 コレクション 3/20 ~5/23	
常設展のみ		常設展のみ	常設展のみ		常設展のみ			常設展のみ	常設展のみ	常設展のみ	常設展のみ	

土屋文明記念文学館

住所 群馬県高崎市保渡田町2000 上毛野はにわの里公園内
 電話番号 027-373-7721
 休館日 火曜日（祝日の場合は翌日）年末年始



4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
休館 4/21 ~4/24 ※休館日以外は 常設展のみ	第1回土屋文明記念全国短歌大会作品募集 4/1~5/31		休館 6/29~7/2 7/7~7/10 ※休館日以外は常設 展のみ	まつおりかこ 絵本の世界 4/25~6/28			休館 9/24~10/9 10/13~10/16 ※休館日以外は常設 展のみ	開館30周年記念式典 第1回短歌大会表彰式 9/20		休館 12/28 ~1/6	三島由紀夫展 10/17~2/7	
開館30周年記念 正岡子規とアララギ 7/11~9/23												
常設展のみ												